

第2学年英語科学習指導案

時間・場所 公開授業③ 2年6組教室
 学 級 2年6組 31名 (男子14名, 女子17名)
 指 導 者 行方 由美

1 単元名 My Project 5 「スピーチをしよう～こんな人になりたい」

(開隆堂 Sunshine English Course 2 P 7 2)

2 単元について

本学級の生徒は、即興で話す活動には苦手意識を感じているが、新しい知識の習得や活用することに意欲的に挑戦しようとする姿勢が見られ、特に「書く」自己表現活動を得意としている。ペア活動やグループ活動での交流も協力して行うことができる。書く活動を積み重ねてきた成果として、自分の伝えたいことを表現しようとする姿勢が身につけてきているので、多様な既習表現を用いながら、構成を整理して原稿を作り、スピーチできる力を付けさせたい。

この単元には新出の言語材料はなく、既習表現である接続詞 if, when, because や動名詞、不定詞等を活用して、自分になりたい「あこがれの人」を紹介するスピーチを行うことをねらいとしている。本校 Can-Do リスト話すこと (発表) - 2 「テーマに沿ってまとまりのある英文で30秒程度スピーチすることができる」を主眼においた指導に適した教材である。小学校外国語活動では、Hi, Friends! 2 の Lesson 8 で want to be を使って将来の夢について話す活動に慣れ親しんでいる。「将来の夢」とすると、夢を決めかねて内容の部分でつまずく生徒も多いが、この単元では、家族などの身近な人や有名人、スポーツ選手など、自分があこがれている人の生き方を取り上げ自分の考えを述べるという形式にすることで、原稿を作りやすく工夫されている。

全体の前で発表する活動は今年度2回目である。個人のスピーチは1年生での My Project 1 「自分のことを話そう」、My Project 2 「人を紹介しよう」に続いて3回目である。過去の反省をもとに各自目標を立てて活動に臨ませたい。原稿作成においてはモデル文の構成を元に、伝えたいことが明確に伝わる内容、文章構成になるように指導する。またグループでの交流を通して、英文の精度を上げたり、英文の内容や発表の仕方を工夫させたりして、達成感をもって発表を終えられるよう支援したい。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・文構造や文章構成に注意して、あこがれの人について60語程度のスピーチ原稿を書く。
- ・書いた文章をもとに、適切な音声で、自分の考えが伝わるようにスピーチをする。
- ・自分の夢についてのスピーチ原稿作りやスピーチの活動に積極的に取り組む。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
自分の夢についてのスピーチ原稿作りやスピーチの活動に積極的に取り組んでいる。	①文構造、文章構成に注意して、あこがれの人について60語程度のスピーチ原稿を書くことができる。 ②書いた文章をもとに、適切な音声で、自分の考えが伝わるようにスピーチすることができる。		

4 単元計画 (総時数4時間)

小単元名	時間	主な学習内容
My Project 5	1	モデル文の内容理解と音読。スピーチの構成を学ぶ。
	1	原稿の構想を考え、原稿を書く。
	1	4人グループで交流をして、原稿を手直しする。
	1	書いた原稿をもとにスピーチをする。発表を振り返る。【本時】

5 本時の指導 (4/4)

(1) 目標

- ・「こんな人になりたい」というテーマで、60語程度のスピーチをする。(表現)
- ・スピーチ発表において、大きな声で、表現豊かに自分の考えを伝えようとする。(関心・意欲)

(2) 「振り返り」の工夫

- ・自分の発表について、目標が達成されたかどうか振り返る。
- ・クラスメートの発表を聞いて、工夫していた点、次の自分の発表に取り入れたい点について振り返る。また、次のProjectへの目標を持つ。
- ・各自の振り返りをシェアすることにより認め合いや気づきを促す。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価 (<input type="checkbox"/>)
導入 5分	0 スピーチの個人練習をする。(3分前) 1 英語であいさつする。 2 課題を把握する。	1 いつものあいさつの後に Small Talk Are you ready for your speech? から1分間 2 事前に立てている個人目標を確認させ、発表への意欲を持たせる。
	Today's Goal: 「こんな人になりたい」スピーチで自分の考えを伝えよう	
展開 35分	3 スピーチ発表をする。 <スピーチの方法> ・全体の前で一人ずつ ・時間は1人1分以内 ・聞く側は評価をしながら聞く。	3 各自に配布してある評価用紙に評価させながら聞かせる。聞く側にも、真剣に聞くこと、あいづちや拍手などをするように指導し、発表しやすい雰囲気を作る。 「こんな人になりたい」というテーマで、60語程度のスピーチをすることができたか。 【発表】 スピーチ発表において、大きな声で、表現豊かに自分の考えを伝えようとしているか。 【発表】
終末 10分	4 本時の振り返りを行う。 ① 指示1分 ② 記入4分 ③ 交流2分 ④ 発表3分	4 視点(下記)を示して、評価用紙に振り返りを記入させ、記入したことを交流することで、認め合いや気づきを促す。 ① 自分のスピーチで目標が達成されたかと理由 ② 友達のスピーチでよかったところ
	準備した原稿をもとに、大きな声で表情や写真を使うなど工夫して発表することができました。また、〇〇さんの発表で聞く側への問いかけを交えて聞く人をスピーチに引き込んでいるところがよいと思ったので、次のMy Project 6の発表に取り入れていきたい。(第IV型)	
	5 教師の評価を聞く。	5 生徒の発表や振り返りの内容についてよかったところ、気を付けたいところ、次回に期待することなどをできるだけ具体的に伝え、達成感を持たせるとともに、次回の発表や今後の英語学習への意欲へとつなげる。
	6 次時の予告を聞く。	6 次時は単元テストを行うことを確認する。